



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 高橋 浩二
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL 03-3787-1151(代表)

ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

ご退職に寄せて

昭和大学歯科病院 副病院長 飯島 毅彦

畦道に豆の花咲く別れかな(星野 椿 2011)
木の芽や花が少しずつ彩りを加えていくこの季節は別れの季節でもあります。春には新たな研修医、学部学生、入職者が仲間に加わると同時に歯科病院でも長年勤められた職員の方々に本年3月末をもってご退職される方がいらっしゃいます。

副病院長を務められた小児歯科科長の井上美津子先生は昭和大学歯学部創設時に東京医科歯科大学から赴任されました。昭和大学歯学部初の女性教授として活躍され、学生教育の責任者である教育委員長を務められました。公的な仕事も多く、歯科医師および歯科衛生士国家試験委員を務められ、現在は内閣府の食育推進会議のメンバーとして小児の生活指導にもご活躍されています。柔らかな語り口は多くの人を助けてきました。まだまだ、教育の中心にいらっしゃる先生がご退職されるのは誠に残念ですが、これまでの御苦勞を癒していただきたいと思ひます。

石川英美看護師長は長年旗の台の昭和大学病院で看護師の指導をされてきましたが、平成20年より歯科病院に赴任され、病棟、手術室、口腔外科外来等の看護業務を総括指導されてきました。医科病院とは勝手の違ったこの病院で看護業務を進めていくことはご苦勞が多かったものと思ひます。看護師さんのストレスをメンタルな面から支え、いろいろな場面でも優しく対応され、組織として問題点を解決されてきました。

歯科衛生士である辻美恵子さんは昭和53年より歯科病院に勤務されており、途中、昭和大学藤

が丘病院歯科室の設立に貢献しました。無遅刻無欠勤を貫き、平成25年度には文部科学大臣表彰を受けていらっしゃいます。歯科病院の歯科衛生士さんは皆、勉強熱心で向上心が強い方が多いようです。このような風土を醸成するのに辻さんの勤勉さが良い方向に向けたのではないのでしょうか？

歯科技工室係長の久松勝さんは37年の長きに渡り中央技工室で歯科病院の技工に携わって来られました。昭和大学歯科病院の特に補綴診療の変遷をご覧になってきたと思ひます。歯科診療はチェアサイドでの診療と同様に長年口腔内環境に耐えられる優れた技工物を作ることが大事です。長い年月にわたり臨床を支えてこられたご貢献に感謝申し上げます。

定年はやがてくるもの花みずき(日下部宵三 2010)

誰でもいつかは同じに職場を離れる時期が来ます。日本では春に年度が替わります。丁度華やかな桜が人々の気持ちに区切りをつけるのを助けてくれます。長年一緒に働いていた方々が去られるのは寂しいことですが、ご退職される方々は新たな生活を是非楽しんでいただきたいと思ひます。残された我々は先人の作り上げてきたものをさらに伸ばしていけるようにしていきたいものです。バトンを受け取りました。ご退職される皆さんがどうか平穩で豊かな日々を送られることをお祈りいたします。





昭和52年に昭和大学歯学部が創設されると同時に東京医科歯科大学から赴任し、早や38年が経過いたしました。母校には3年間残っただけですので、

歯科医師人生の大部分を昭和大学で過ごしたことになります。

当初は、佐々龍二助教授をはじめとした医科歯科からのメンバーが4名と新卒の歯科医師6名で教室づくりを始め、まずは歯科病院開院に向けての診療体制づくりに取りかかりました。当時は乳歯う蝕が蔓延していた時代ですので、口腔衛生指導や定期診査の流れを明確にした口腔管理システムを構築し、10名いた歯科衛生士とも力を合わせてう蝕予防のための保健指導の徹底を図りました。はじめの数年間は、診療の体制づくりや歯学部学生の講義・実習の準備などに追われる毎日でしたが、若い同僚や後輩とともに楽しく仕事をさせていただきました。

診療や教育の立ち上げが一段落してからは、保健所や障害児施設でのフィールド活動にも力を注ぎ、そこからの患者の紹介なども積極的に受け入れました。また、医系総合大学としての特徴を活かして、口唇口蓋裂児や未熟児（低体重出生児）に関する診療・研究の協働も推進してまいりました。

時代の流れとともに診療・教育・研究の内容は少しずつ変化してきましたが、「子ども達のために自分たちができることをしたい」という考えは昭和大学小児歯科の根底に流れていると思います。

平成18年には佐々教授の後任として小児成育歯科学講座の主任教授を拝命し、現在に至ります。佐々教授と一緒に作ってきた教室ですので、教室の方針の大きな転換はありませんでした。平成21年からは教育委員長として歯学部の教育改

革にも携わり、22年から3年間は教育担当の副院長も務めさせていただきましたが、関係する皆様方の多大なるご協力のもと、どうか役目を果たせたかと思えます。教授になって会議が増え、教育関係のノルマも増えたため、教室員と医局で雑談する時間が減ったことだけが残念でした。

診療面では、相変わらず多数歯う蝕を有する小児の来院もみられますが、患者の主訴は多様化しており、治療に対する保護者の考え方も多様化しています。いろいろ大変なところもありますが、「口腔の健康支援を通して、子ども達の未来を支える小児歯科」であり続けることを望みます。また、3年前から昭和大学横浜市北部病院で始めた「マタニティ歯科」を今年4月からは江東豊洲病院でも始めることになりました。退職後もできるだけお手伝いしたいと考えています。

副院長時代をはじめとして、歯科病院の皆様には本当にお世話になり、ありがとうございました。昭和大学歯科病院のますますのご発展を祈念しております。



小児歯科 医局員

今年、3月で定年となります。昭和大学に勤めて34年となりますが、田舎から一人で面接に来た時の心細かったことは今でも忘れません。あれから34年、過ぎてしまうととても短く感じています。

体調不良で休むこともなく勤務できたことは健康である証拠でしょうね。昭和大学病院では小児科外来、形成外科外来、15階病棟、東病院4階、放射線部、血液浄化センターを経験し6年前に歯科病院に異動となりました。最初は戸惑うばかりでしたがスタッフ、歯科医師、衛生士、などたくさんの方に支えていただきながら今日を迎えられたと感謝いたします。

師長はスタッフを育てる役割もありますが、私は反対に師長もスタッフに育てられると思っています。時には叱り、時にはきつい意見をもらい、そして時には喜び合う中で互いが成長できるのではないかと思います。数え切れないほどの思い出ができて、本当に幸せです。他大学のラウンドに行ったり、全国の私大歯学部附属病院の看護部長会に出席し、各病院の状況・情報交換・問題などを話し合うというとてもよい時間を過ごせることができました。

これから第2の人生が始まりますが今まで得たものを大切にし、今後も学ぶことを忘れずにしたいと思います。長い間本当にありがとうございました。



外来 スタッフ



病棟 スタッフ



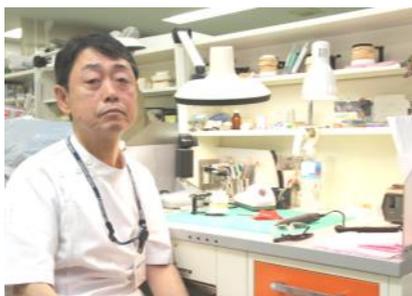
手術室 スタッフ



サプライセンター スタッフ

退任のご挨拶

歯科技工室 係長 久松 勝



私が在職した37年間、昭和大学旗の台では入院棟、中央棟ができ、平成13年に横浜北部病院、平成26年には豊洲病院が新しく大きくなりました。改めて長い年月が過ぎたことを、実感させられます。

歯科病院開設2年目から中央技工室で勤務してきましたが、以前は歯科医師国家試験に歯科技工の試験があり、卒業してくる先生方は非常に

技工が上手で、共に夜遅くまで技工をした思い出があります。その頃から退官なさるまで大変お世話になりました名誉教授である山縣先生、川和先生、久光先生には、この場をお借りして御礼申し上げます。

現在の歯科技工は、学生の臨床実習等で技工をする機会が少なくなったせい、歯科医師の理解が得られなくなってきている様に思います。

心配な事はたくさんありますが、私は健康に恵まれ、定年退職まで勤務できました事を幸せに思っています。

退任のご挨拶

歯科衛生室 衛生士 辻 美枝子



昭和53年に昭和大学歯科病院に入職以来、34年間勤務させていただきましたが、このたび3月に定年を迎えることになりました。平成4年には昭和大学藤が丘病院の歯科開設に携わり15年間の病院歯科勤務を通じ、有病者の対応など多くのことを学ばせていただきました。平成19年に歯科病院に異動となり、現在に至るまでに診療科全ての科で勤務させていただくことが出来まし

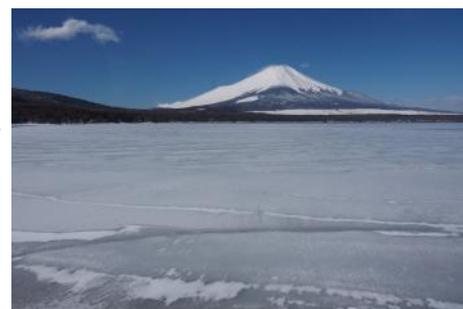
た。日頃から患者さんに対し、安心して安全な医療サービスが提供できるよう日々精進してきましたが、平成25年に文部科学省より医学教育等関係業務功労者表彰を賜ったことは大変光栄に存じます。退職を迎える日まで無事に勤めることができたのも、常に周りで支えてくださった方々のおかげと感謝し、出会った皆様全てにこの紙面をお借りしてお礼申し上げます。

皆様のご健康と歯科衛生室の今後のご活躍、昭和大学歯科病院の更なるご発展を祈念しご挨拶に代えさせていただきます。

編集後記

今月号は3月でご退職される方々の特集号です。巻頭言で飯島副院長が素晴らしい贈る言葉をまとめられました。私自身は昭和52年に一回生として入学し、本年度まで本当にご退職される皆様にお世話になりました。誠にありがとうございました。

衷心より感謝申し上げますとともに皆様の第二の人生の門出をお祝い申し上げます。。。



(K.T)

湖水結 撮影:羽田 徳永